

平成30年度決算
あなたの意見を聞かせてください

平成30年度に実施された事業などについて、編集委員がまちなかの皆さんのご意見をうかがいました。皆さんは、どのようなご意見をお持ちでしょうか？

ふるさと納税寄附金

地域を応援する気持ちから寄付が行われ、地域間の税収格差が是正されることが制度の目的です。返礼品競争が反響を呼びました。

ふるさと納税が始まったときは、夫と私のふるさと自治体も決して裕福ではなかったのに、寄付をしてみました。しかし、全国的に返礼品合戦みたいになってきてしまい、こんな状態では本来の趣旨とは異なると思い、寄付を辞めてしまいました。今はふるさと納税はしていません。

インタビューをうけた方
上福岡三丁目 女性

数年前からふるさと納税をしています。きつかけはやはり東日本大震災です。南三陸町に寄付をし、その他の市町村にもしました。

近年は、災害にあった市町村を中心に、大火災のあった糸魚川市、大地震のあった熊本市等に寄付しました。今年も、台風第15号の被害が大きかった千葉県各市町村のいずれかに寄付したいと思っています。

インタビューをうけた方
富士見台 男性



学校給食食物アレルギー対応の拡充

なの花学校給食センターに専用調理室が整備されてから、アレルギー除去食の提供が行われています。提供できる対象者が広がりました。

来年、小学校に入学するので給食が心配で今日の説明会に参加しました。完全に分離されたアレルギー対応の調理室の様子が映像で見えることもできて、安心しました。以前はお弁当を持参させていた日もあったと聞いていたので、お友達と一緒に給食を食べることができそうで良かったです。さらに、除去食の提供対象者が広がると喜ぶ方が増えると思います。

インタビューをうけた方
学校給食食物アレルギー
説明会の参加者



空き店舗対策事業

商店街の活性化などにむけて行政・地域と連携している、まちラボ研究員の方にインタビューをしました。

大学の近くに住んでいる地域の方々とお話する機会を得て、大学の講義で得た知識を実践できる場になりました。この事業に参加して、社会に出る前に貴重な経験を積むことができました。

今後は、行政、大学、商店街、地域とどう連携していけば円滑にいくのか話し合いを重ねていけたらいいなと思っています。

応援していく人や活動を広げにくのために高校生や小中学校などと連携していきたいと思っています。



インタビューをうけた方
まちラボ研究員

ふじみ野市運動公園の再整備

ふじみ野市運動公園の再整備が行われ、誰もが気軽にスポーツできる人工芝の広場が新設されました。

健康維持のランニングをした後に、毎朝ここで運動をしています。この広場は予約無しでいつでも気軽に利用できるのが良いですね。オムコート（砂入り人工芝）になっているので、雨でも足元に水がたまず助かります。特にスキの季節は近くの土手が歩きづらくなるので、広場でランニングもできて助かっています。

また、新しく設置された壁打ち板を使って、テニスやサッカーのボール当てる練習ができるのも嬉しいですね。

インタビューをうけた方
駒林の金子さん



がん検診の充実

従来のバリウム検査に加え、新たに胃の内視鏡検診が導入されました。がん予防セミナーにお邪魔して、お話をうかがいました。

たばこは本当にだめ。特にお酒を飲みながらたばこを吸う人は、食道がんの発病率がとても高まります。胃がんはバリウム検査だと見過ごす場合があり内視鏡検査を薦めます。子宮頸がんワクチンはワクチンを接種する効果と接種しないときのリスクを考えるべきですね。

インタビューをうけた方
上福岡総合病院の
井上達夫先生



がんの定期検診を欠かさず受けています。実際に、がんの手術も行いました。私はバリウムより内視鏡検査の方が楽でした。



インタビューをうけた方
がん予防セミナーの参加者

福祉総合相談窓口の設置

制度の狭間で苦しむ市民の相談や支援を行っている専門職の方に話をうかがいました。

制度の狭間の問題、他分野にまたがる複合的なケースなどの相談が多く寄せられています。8050問題のように、ひきこもりの相談が一番多いです。最近では、市役所の担当課、高齢者あんしん相談センター、民生委員などからも連絡が入ります。アウトリーチを通じて、支援が必要な当事者の方が外に目を向けるようになることが重要。訪問活動を継続して行い、相手に寄り添い、関係をつくるのが大事です。実際に会えなくても、繰り返し訪問しているうちに、ドアの向こうで話を聞いているような気配を感じることもあります。市民の方には、こんな相談と思われるてもお気軽に相談していただきたいと思っています。

インタビューをうけた方
ふくし総合相談センター
「にじいろ」の植原さん

